

名勝小金井桜定期パトロール報告書

No. 2019 - 4

巡回日31年 4月17日(水)

時間 10:00 ~ 11:30

巡回区間 第1ブロック 参加者 田嶋・石田

記録者 石田

1. 全体 桜の花期は終わりヤエザクラ以外は葉桜となった。
一面の緑、新緑に萌えている。

2. 桜樹 右岸、喜平橋寄りの八重桜カンザン3樹が名残の花を咲かせているが他のサクラはすでに花期を脱し、新緑の若葉をまとして居る。昨年ヒコバエが全面的に除去されたが、今年も新たなヒコバエが発生している。

#984 葉の着生状況が前年同様串団子状を呈している。

#987,991 一部の枝の先端に勢いがなく隙間がある。今後も観察を続ける。

#1020 今年の開花調査中全く開花が見られなかった、主幹の枝は枯れているがヒコバエが出ている。幹の上部を切り取り、ヒコバエで再生させることができると良いと思う。

3. その他の樹木 落葉樹の新葉が開き一面緑色。

4. 野草 タンポポ、カラスノエンドウ、オドリコソウ、シャガ、スズランスイセン、スミレ、チューリップなど開花中

5. 緑道 右岸、左岸ともそろそろ雑草の伸長が始まっているが通行には支障ない。

6. その他 特記事項 なし

7. 要望事項

菖屋橋上流側に昨年旺盛に繁茂したクズの残骸がそのまま放置されており非常に見苦しい。交通量の多い橋上からの眺めを著しく阻害しているため、できるだけ早く対処して頂きたい。

菖屋橋～喜平橋間右岸の柵内は昨年刈り払いが実施されなかったため、全体としてササが繁茂している。名勝の景観を維持するためにも最低年1回の刈り払いを行って欲しい。



菖屋橋上流側右岸

菖屋橋橋上から水面を見る

菖屋橋左岸柵内

右岸柵内のササ



スミレ 左岸#170付近

イチリンソウ#1004-1付近

スズラン#1014付近

名残のカンザン#1001-1